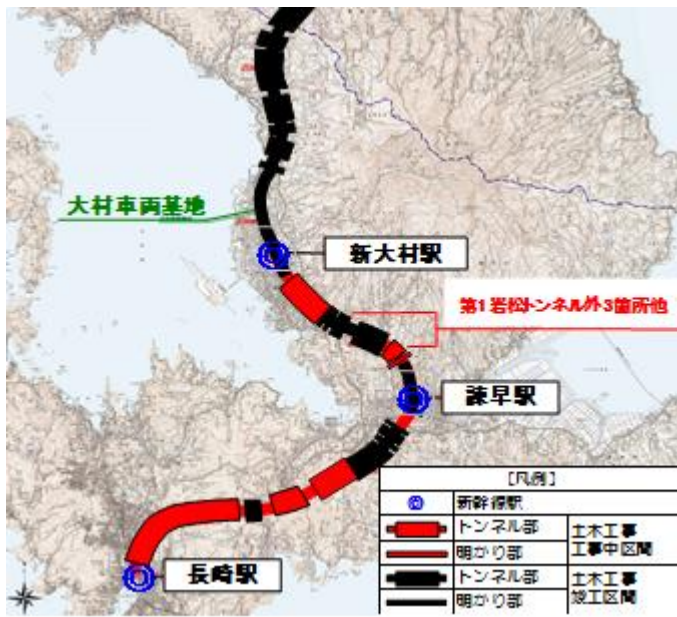


大村市岩松町から諫早市下大渡野町において進められていた「第1岩松トンネル外3箇所他」の工事が、令和3年5月2日に竣工しました。

この工事では、工事長3,812m間で3本のトンネルを始め、橋りょう下部工(橋台と橋脚)、高架橋、緩衝工、保守用斜路などさまざまな構造物の施工が行われ、また工事で発生した残土を活用した新諫早変電所の土地造成も併せて行われました。

この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事40工事のうち29工事が竣工したとなりました。



【位置図】



稲河内川付近(第1岩松トンネル・第2岩松トンネル間)

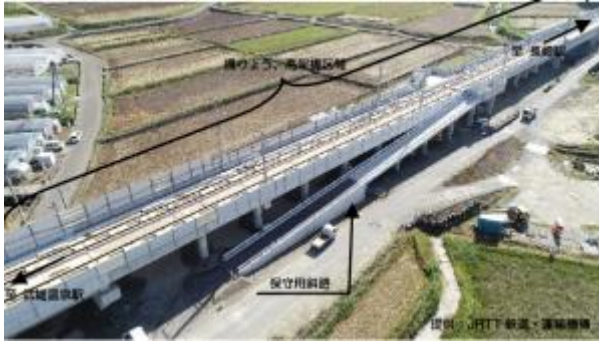


白鳥川付近(第2岩松トンネル・第3岩松トンネル間)

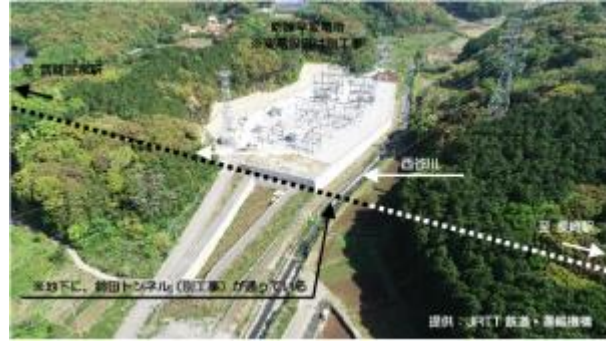


第2小川内架道橋から鈴田トンネル入口を望む

※緩衝工とは、新幹線がトンネルに高速で入るときに、その空気圧により発生する大きな音を軽減するために設置するもの



保守用斜路(大村市平町)



新諫早変電所

※線路の保守作業を行なう車両の出入りのために設置するもの(この斜路は道路と線路両方を走行できる車両(軌陸対応)の出入りができます)